

診療科	整形外科
学会認定	日本整形外科学会研修施設 日本手の外科学会認定研修施設
特長	当科は東京医科歯科大学整形外科の脊椎班、手の外科班の重点関連病院で、現職の医師は東京医科歯科大学整形外科の医局に在籍しています。当科には9名の整形外科医が常勤しており、そのうち4名が脊椎専門医、1名が手の外科専門医、4名が研修中の医師です。当科では整形外科のプライマリーケアの研修が可能ですが、特に脊椎脊髄疾患、脊椎外傷、手の外科外傷の研修が専門的に出来ます。内視鏡を用いた低侵襲脊椎手術や脊椎変性疾患や脊柱側弯症に対するコンピュータ支援手術（Navigation surgery）などの、先端脊椎医療を行っています。
プログラム概要	当科では脊椎脊髄病患者、手の外科患者さんの受け持ちをしていただきます。通常指導医が主治医となり、研修医の先生は担当医に位置付けられます。診察、検査、手術、外来の業務は主治医と担当医がペアになって進めてゆきます。研修開始後3ヶ月は、診察の仕方、検査の仕方を重点的に学んでいただきます。その後は手術、外来業務が開始されます。受け持ち患者数は10名程度になり、年間脊椎手術経験数は50から100件程度の予定です。年間手の外科手術件数は450件程度です。
主な症例 (件数) 2008年実績	手術件数は800件であり、そのうち脊椎手術は565件、手の外科手術441件、その他22件、内視鏡下手術101件です。手の外科は、上肢外傷が多いため緊急手術が主となります。年間手術件数は450件程度です。
研修指導医数	日本整形外科学会専門医 / 4名 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 / 4名 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 / 2名 (重複あり)